

本場食品衛生検査所

理化学検査情報

Vol.63 2022 No.1
令和4年5月発行



今号の内容:令和3年7月から9月までに検査した

残留農薬検査結果
放射性物質検査結果
総水銀検査結果
自然毒検査結果
動物用医薬品検査結果

横浜市健康福祉局中央卸売市場本場食品衛生検査所

電話: 045-441-1153

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/shoku/shokuhineisei/>

1 残留農薬検査

令和3年7月から9月までの残留農薬検査は、国産農産物4検体(4種)、輸入農産物1検体(1種)について実施しました。このうち農薬を検出した検体数は4検体(4農薬)で、残留基準値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

(1) 国産農産物検査結果 検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
ジャガイモ	茨城県	令和3年7月15日	本場市場	なし	不検出	なし
ナス	栃木県	令和3年7月15日	本場市場	ルフェヌロン	0.01	0.5
ブロッコリー	長野県	令和3年7月15日	本場市場	クロチアニジン	0.01	1
トマト	福島県	令和3年7月15日	本場市場	プロシミドン	0.08	3

(2) 輸入農産物検査結果 検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
カボチャ	メキシコ	令和3年7月15日	本場市場	イミダクロプリド	0.01	1

検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
イミダクロプリド	クロロニコチル系殺虫剤	1985年に日本企業により開発された。作用機構はニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用である。日本では1992年に初めて農薬登録された。
クロチアニジン	ネオニコチノイド系殺虫剤	1988年に日本企業で開発された。作用機構は昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト作用である。日本では2002年に初めて農薬登録された。
プロシミドン	ジカルボキシイミド系殺菌剤	植物病原菌(灰色かび病、菌核病等)に対し、菌糸の伸張育成を阻害すると考えられている。日本では1981年に初めて農薬登録された。
ルフェヌロン	ベンゾイルフェニル尿素系殺虫剤	キチン質合成阻害薬であり、キチン質の合成を阻害することにより幼虫の孵化および発育を阻害します。

参考:内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書

環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について
農業工業会

2 放射性物質検査

令和3年7月から9月までの放射能検査は、水産物 28 検体、農産物 6 検体、合計 34 検体について実施しました。基準値を超えた検体はありませんでした。

放射性セシウムの基準値はセシウム 134 とセシウム 137 の合計で設定されています。

- 乳児用食品については 1kg あたり 50 ベクレル以下
- 飲料水については 1kg あたり 10 ベクレル以下
- 牛乳については 1kg あたり 50 ベクレル以下
- その他、一般食品については 1kg あたり 100 ベクレル以下

(1) 水産物検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
ヒラメ	青森県	青森県沖佐井港	令和3年7月2日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖佐井港	令和3年7月2日	不検出	不検出	不検出	天然
キチジ(キンキ)	岩手県	三陸北部沖宮古港	令和3年7月2日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	日本太平洋沖合北部 気仙沼港	令和3年7月9日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	福島県	福島県沖相馬港	令和3年7月9日	不検出	不検出	不検出	天然
ウスメバル	青森県	青森県沖横浜港	令和3年7月9日	不検出	不検出	不検出	天然
ババガレイ(ナメタカレイ)	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年7月16日	不検出	不検出	不検出	天然
ガザミ(ワタリカニ)	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年7月16日	不検出	不検出	不検出	天然
ジンドウイカ(ヒイカ)	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年7月16日	不検出	不検出	不検出	天然
銀鮭(フィレ)	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年7月16日	不検出	不検出	不検出	養殖
カツオ	宮城県	三陸南部沖気仙沼港	令和3年8月5日	不検出	不検出	不検出	天然
タラ(フィレ)	岩手県	三陸北部沖宮古港	令和3年8月5日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	青森県沖横浜港	令和3年8月5日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖下北港	令和3年8月13日	不検出	不検出	不検出	天然
メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖気仙沼港	令和3年8月13日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	日本太平洋沖合北部 気仙沼港	令和3年8月27日	不検出	不検出	不検出	天然
サワラ(サゴシ)	岩手県	日本太平洋沖合北部 大船渡港	令和3年8月27日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	北海道	北海道・青森県沖太平洋 花咲港	令和3年8月27日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	日本太平洋沖合北部 気仙沼港	令和3年9月2日	不検出	不検出	不検出	天然

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134 検出値	セシウム137 検出値	セシウム 合計	備考
ブリ(イナダ)	岩手県	三陸北部沖宮古港	令和3年9月2日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県横浜港	令和3年9月2日	不検出	不検出	不検出	天然
パバガレイ(ナメタカレイ)	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年9月10日	不検出	不検出	不検出	天然
ヤリイカ	宮城県	宮城沖石巻港	令和3年9月10日	不検出	不検出	不検出	天然
メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城沖気仙沼港	令和3年9月10日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森沖八戸港	令和3年9月10日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ	北海道	北海道沖花咲港	令和3年9月17日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	三陸南部沖気仙沼港	令和3年9月17日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	北海道	北海道沖花咲港	令和3年9月17日	不検出	不検出	不検出	天然

(2) 農産物検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	買取日	セシウム 134 検出値	セシウム 137 検出値	セシウム合計	備考
キュウリ	茨城県	令和3年7月21日	不検出	不検出	不検出	ハウス
ナス	栃木県	令和3年7月21日	不検出	不検出	不検出	露地
ネギ	茨城県	令和3年7月21日	不検出	不検出	不検出	露地
ナス	茨城県	令和3年9月24日	不検出	不検出	不検出	露地
キュウリ	福島県	令和3年9月24日	不検出	不検出	不検出	露地
ブドウ	山形県	令和3年9月24日	不検出	不検出	不検出	露地

3 総水銀検査

令和3年7月から9月までの魚介類の総水銀検査は、5検体(4魚種)について実施しました。暫定的規制値を超えた検体はありませんでした。今回ヒラメで総水銀が検体1kgあたり0.41mg検出されていますが、暫定的規制値を超過したとみなすのは0.45mgからです。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

魚介類の水銀の暫定的規制値:検体1kgあたり総水銀0.4mgかつメチル水銀0.3mg

総水銀検査結果		検出値:検体1kgあたりに含まれる水銀のmg数(PPM)	
検体名	産地	収去日	検出値
カンパチ(養殖)	鹿児島県	令和3年7月20日	0.13
マダイ(養殖)	愛媛県	令和3年7月20日	0.17
ヒラメ(養殖)	三重県	令和3年7月20日	0.41
マダイ(養殖)	愛媛県	令和3年7月20日	0.19
ブリ(養殖)	高知県	令和3年7月20日	0.06

4 自然毒検査

貝毒検査

令和3年7月から9月までの貝毒検査は、下痢性、麻痺性ともに国産3検体、2種の貝について実施しました。LC/MS/MSによる機器分析法により下痢性貝毒、マウス法により麻痺性貝毒を検査した結果、規制値を超過した検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

貝毒の規制値

- 下痢性貝毒は1kgあたり0.16mgオカダ酸当量(注釈1)以下
- 麻痺性貝毒は1kgあたり4マウスユニット(注釈2)以下

注釈1:オカダ酸当量とは、測定で得られたオカダ酸、ジノフィシトキシン-1、ジノフィシトキシン-2の検出値に係数を乗じた値の総和のことを言います。

注釈2:マウスユニットとは、貝およびフグ等様々な毒素の影響量に対する単位のことを言います。麻痺性貝毒の場合、体重20グラムのマウスが15分で死亡する毒力が1マウスユニットと定義されています。

貝毒検査結果

下痢性貝毒検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

麻痺性貝毒検出値:検体1gあたりのマウスユニット

検体名	産地	収去日	下痢性貝毒検出値	麻痺性貝毒検出値
ハマグリ	三重県	令和3年7月29日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	青森県	令和3年7月29日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	北海道	令和3年7月29日	不検出	1.75未満

5 動物用医薬品検査(抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤等)

令和3年7月から9月までの抗菌性物質検査は、養殖魚5検体について実施しましたが、基準値を超える検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

動物用医薬品検査結果

検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	検出薬剤	検出値	基準値
カンパチ(養殖)	鹿児島県	令和3年7月20日	なし	なし	なし
マダイ(養殖)	愛媛県	令和3年7月20日	なし	なし	なし
ヒラメ(養殖)	三重県	令和3年7月20日	なし	なし	なし
マダイ(養殖)	愛媛県	令和3年7月20日	なし	なし	なし
ブリ(養殖)	高知県	令和3年7月20日	なし	なし	なし